

★テクノロジーで現場を救うための「人間重視のAI活用術」を3.5時間で体系的に学びます！

人間の認知限界に挑む「AI×ヒューマンエラー防止策」

～精神論やルール強化に頼らない、現場を救うための『外付けの脳』の実装～

◆日時：2026年6月15日(月) 13:00～16:30【アーカイブ配信:6/17～6/25】

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※上記金額はライブ配信・アーカイブ配信いずれかの視聴料金です。申込欄でご選択ください。

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき39,600円

・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)

・LIVE/アーカイブ配信両方視聴する場合は1名49,500円、2同時申込で名55,000円です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※ご略歴はホームページでご確認下さい。

(株)GEMBAコンサルティング 代表取締役 大原 健佑 氏

<ご専門> 製造業 経営全般、生産現場改善、設計開発プロセス改善、技術開発支援

<学協会> 神奈川県中小企業診断協会、長野県中小企業診断士協会

【受講対象】

- ・製造/開発現場の管理職、リーダー層
- ・安全管理、品質保証部門の担当者
- ・現場のDXを推進するIT・生産技術担当者
- ・「ルールを厳しくしてもミスがなくなる」と限界を感じている方

【習得できる知識】

- ・ヒューマンエラーの科学的理解
- ・AIによるエラー防止のフレームワーク
- ・最新AI技術のトレンド
- ・組織実装の要諦

【講座の趣旨】

製造現場におけるミス対策の多くは、いまだに「注意喚起」や「ルールの厳格化・多重化」に依存しています。しかし、人間の脳の構造(認知の仕様)には限界があり、ルールが増えるほど注意が分散し、新たなミスを誘発するというパラドックスに陥っています。

本講座ではエラーを「個人の責任」ではなく「システム(認知限界)の問題」として捉え直します。その上で最新のAI技術を人間の弱点を補完する「外付けの脳」として定義し、どのように現場の「判断」や「見落とし」をサポートすべきか、具体的な実装事例を交えて詳説します。精神論から脱却しテクノロジーで現場を救うための「人間重視のAI活用術」を3.5時間で体系的に学びます。

【プログラム】

1. なぜ「ルール」と「気合」ではエラーを防げないのか

- 1-1. エラーの再定義:不注意は「原因」ではなく脳の仕様による「結果」
- 1-2. ルール強化のパラドックス:ルールが増えるほど現場が危険になる理由
- 1-3. 注意のスポットライト理論:見えても「見えていない」脳の盲点
- 1-4. ワーキングメモリの限界:マルチタスクが脳をバグらせるメカニズム
- 1-5. 認知バイアスと判断ミス:ベテランほど陥る「思い込み」の正体
- 1-6. エラーの4分類:スリップ、ラプス、ミスティク、違反の対策差
- 1-7. スイスチーズモデルの深掘り:組織の穴をすり抜ける事故の構造
- 1-8. 環境設計の思考法:「人を変える」のではなく「環境を置換する」

2. AIによる「認知の拡張」と現場への実装

- 2-1. AI=「外付けの脳」:入力・処理・出力を補完するフレームワーク
- 2-2. 五感のデジタル化:センサーとAIが担う「疲れない監視役」
- 2-3. 画像認識の最前線:手順飛ばし、異物、カウント漏れのリアルタイム検知
- 2-4. 異音・振動解析:熟練者の「違和感」をデータで再現する技術
- 2-5. 生成AI(LLM)の衝撃:曖昧な指示を正確なマニュアルに変換
- 2-6. AIメンターの構築:ベテランの暗黙知をAIに学習させ、若手を支援
- 2-7. 予測AIによる予兆検知:過去ログから「ミスが起きる時間」を予報
- 2-8. 失敗事例の研究:AIを「監視」と「責任転嫁」に使ってはいけない理由

3. AIと共生し、人間がより人間らしく働く現場

- 3-1. 心理的安全性の重要性:ミスを隠さない文化がAIの精度を上げる
- 3-2. 「監視」から「守護」へ:現場にAIを受け入れさせるナラティブ
- 3-3. スモールスタートの実践:1工程・1テーマで成功体験を作る
- 3-4. 現場とAIの共進化:現場が教え、AIがフィードバックする循環
- 3-5. 管理職・リーダーの役割:技術問題として逃げず、文化問題として取り組む
- 3-6. リスキリングの視点:AI導入後に求められる「人ならではの」役割
- 3-7. 人間中心のAI設計:作業者の「判断の苦しみ」をどう取り除くか
- 3-8. 総括:AIと共に創る「ミスを責めず、支え合える」未来の現場

【WEBセミナーとは?】

- ・本講座は「Zoom」を使ったWEBセミナーです。視聴方法は「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。Zoom 接続テストの手順(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。
- ・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。
- ・LIVE配信を受講される方には、Zoom視聴URLとテキストデータをメールでお送りします。開始時間の10分前にご参加下さい。
- ・アーカイブ配信を受講される方は、配信開始日までにセミナー視聴動画のURLとテキストデータをメールでお送りします。

『AIヒューマンエラー』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送